

地方通信



北海道地方

北海道の勤勞奉仕土木事業

北海道の昭和十四年度施行の青年團勤勞奉仕土木事業は一支廳一箇所として道廳指示に基き各支廳土木事務所及び關係青年團に於て其の施行期日奉仕人員等に互り詳細協議を進めてゐるが其の内左の五支廳分は既に確定その他の九支廳分も近く決定を見ることがなつた。

△網走支廳(工事名)網走町村道藻琴山殖民

地方通信

道路新設工事(施行延長)一、二〇〇米(施行時期)七月二十四日より八月二十四日迄の三十日を三期に分け一期を十日間とし一日平均七十名内外の参加(延人員)二千八

△擔振支廳(工事名)豊浦村地内町村道辨邊壯瀧浦間道路第三工區の内、改良工事(施行延長)二七二米(施行期間)六月初旬一週間(延人員)一千二百二十人(一日平均百六十人)(奉仕青年團)豊浦村聯合青年團

△日高支廳(工事名)町村道新冠川上流原野道路第一工區の乙新設工事(施行延長)九二米(施行期日)八月上旬一週間(青年團

名)新冠村青年團(延人員)四百五十五人(一日平均六十五人)

△渡島支廳(工事名)福島村地内町村道福島停車場道路新設工事(施行延長)二六五米(施行期日)六月上旬より七月上旬迄一ヶ月間五期に分け毎期三十名宛奉仕(延人員)九百人(青年團名)福島青年團

△檜山支廳(工事名)準地方費道江差岩内線瀬棚町美谷須築間第一工區改良工事(施行延長)九八一米(期間)六月上旬より下旬に至る二十五日間を五期に分け一期を五日とす(一日の奉仕人員四十人)(延人員)一千人(青年團名)瀬棚聯合青年團

關東地方

東京府下八幹線道路の變廢

第二京濱國道の完成も年と共に近づき昭和十六年には工事終了の見込となつたが

此の爲めに東京都市計畫道路の一部を變更し一部は廢止せざるを得なくなつた都市計畫東京地方委員會では左の如く決定した。

變更を受ける道路は昭和二年、同七年、同八年の三ヶ年の間に内務省から告示された東京都市計畫道路のうち郊外に於ける幹線放射道路で、品川區西大崎を起點に横濱港まで約十八キロの第二京濱國道と全然同一系統となるもの、及び之に近接する道路で、これらは何れも第二京濱國道の完成によつて必要性を失ふか、或はその位置を變更する必要を生じたもので、變更の内容は次の通りである。

一、荏原區大崎町桐ヶ谷を起點に荏原町、大井町、馬込町、池上町、調布町を経て蒲田區矢口ノ渡東方神奈川縣界を終點とする第一號路線延長八、一五六、幅員二五メートルを、品川區東大崎五丁目を起點、荏原區戸越町品川區大井伊藤町、大森區馬込町西二丁目、調布千鳥町、蒲田區今泉町を経て蒲田區古市町を終點、延

長八、三〇〇、幅員一八乃至二五メートルに變更

二、荏原區大井町水神下から同區大井町金子に至る三號線延長一四六一メートルを

一、四六五メートルに、經過地を一部變更

更

三、芝區白金台町二丁目から荏原區大崎町桐ヶ谷に至る九十七號路線延長一、七四

五メートルを一六六〇メートルに經過地を一部變更

を一部變更

四、東京都市計畫品川町道路中第八號延長

一〇〇メートル幅員一一メートルは廢止

五、同大崎町道路中第七號線延長一、四五

〇メートルは八九〇メートルに短縮、同

二十二號線延長六六〇メートルを一六一〇

メートルに短縮

六、同荏原區道路中第四號線延長二八〇メ

ートル、幅員一一メートルは廢止、同第

六號線延長二〇四〇メートルを二〇〇メ

ートルに短縮。

東京府青梅町と山梨縣甲府市との觀光道路の建設

見込立つ

東京府下青梅町と奥多摩を経て甲府市とを結ぶ觀光道路は小橋東京市長の置土産として愈々其の建設は實現するの運びとなつた。之は明十五年中には完成し今後は小河内貯水池大菩薩峠を始め一千萬都市民の外圍綠地帯を貫く觀光道路として又西北部産業文化開發の生命線として華々しく世に出ることになつた譯である。

北陸地方

富山縣富山市は街路網の

整備へ

富山市の都市計畫街路は昭和三年に決定したが、その後隣接町村の合併および二回にわたる都市計畫區擴張など膨脹躍進の富

山は土地情勢に幾多の變化を來し、さらに土地の利用の實情に適應、街路系統の整備をはかることゝなつた。即ち上富居線、山室線、有澤線、中島線の四路線を削除、さらに奥田線の一部を削除すると、一方富山驛根塚線、太郎丸線、大町線布瀬線、小泉線、今泉線を變更して都市計畫區域の擴張などによる街路系統の整備を期し、また省線富山驛裏の工場地開發と東岩瀬港連絡のため富山驛北線を富山市東部方面の工場開發あるひは放射線連絡のため窪堀川線、大泉、太郎丸線、赤江、大村線を省線東岩瀬驛と富山飛行場、東岩瀬港と連絡のため倉垣、大廣田線、東岩瀬港停車線を、富山市と四方町と連絡のため百塚四方線をそれぞれ追加配置して躍進富山の街路網整備の體系を樹立した。

東山地方

地方通信

山梨縣の道路は資本です との道路愛護デー

山梨縣での道路愛護デーは四月十一日縣下各市町村に各種催物を實行、尾崎土木課長は九日甲府放送局から講演して縣民にその注意を喚起させる等觀光山梨の道路改修はその資本ですから大いに頑張らうと各種團體は道路の勤勞奉仕の宣傳に努める。甲府市 縣と呼應し市内各中小學校生徒並に町總代を通じ宣傳ビラを配布し趣旨の普及に努める外府縣の營繕、道路側溝等の清掃を行ふ、尙甲府土木出張所では當日總動員で管内六十ヶ町村へ出動指揮監督に當る事となつた。身延町 八日午後一時から道路愛護デーに關し區長、各團體長が協議し十一日午前七時から第十一區各部落毎に土木所員や區長が監督し縣道、里道の清掃改修及び神社佛閣等の奉仕作業を實施する。上野原町 十一日の道路愛護デーに全町民が出動破損個所の修理を行ふ。谷村町 谷村縣

土木出張所では管内十一ヶ町村の道路愛護會並に各町村、團體を動員し道路愛護の趣旨徹底と道路、橋梁、側溝、街路樹道路標識、里程標等の修理清掃美化雜草刈交通障害物等の除去を行ふ外、未設置個所に道路愛護會を新設勸奨し擴大強化を圖る事となつた。谷村高女、谷村小兩學校では清掃隊を組織して校の内外を清潔にする。韭崎土木出張所管内道路愛護會並に各種團體が出動縣道村道の修理改修を行ふ。

長野縣下内山峠の改修

着工

長野縣南佐久郡野澤町から群馬縣富岡町に達する縣道野澤富岡線内山峠の改修は群馬縣西牧村に一割五分、七千五百圓、南佐久郡内山村に三千八百圓（總工費の二割）の地元負擔指令が到達、上信電軌會社からは内山村に負擔金寄附採納願が提出され、當局も急速完成を期し雪解けと同時に着工の筈。

東 海 地 方

近 畿 地 方

三重縣四日市市の都市計 畫は道路網の設定から

三重縣四日市市の都計區域は一市三ヶ村から一市九ヶ村（四日市、羽津、日永、常磐、内部、四郷、楠、河原田）以上三重郡一宮、箕田（以上河藝郡）に擴大された、面積も二千三百七十五方里から一躍して五千三百二十六方里と二倍強に擴張されるに至つた。市都計係では第一に街路網で瀾瀾方面の大發展に伴ふ將來に對處する國道、縣道を根幹に新區域内を縱横に縫ふ大小の道路網整備、これにより人口二十萬を收容する住宅地域の設定さらに海岸線地區の工場地帯増設などの基本的計畫を今年度に終了する豫定で縣下第一の大都市に飛躍するすべての條件は具體化したわけである。

大阪府下國道十六號線の 完成と大津町の主要八路 線の計畫

大阪府下國道第十六號線も愈々今十月頃には完成するので泉北郡大津町では外に七路線の完成へと躍進し輕工業の中心生産地としての面目を一新することゝなつた。其の國道及び七線は左の如きものである。

國道十六號線 大字宇多から大津川にいたる延長三百七十メートル、幅員十六メートルで工費二十六萬圓、昭和十三、四兩年度事業としてさつそく今月末着工し遅くとも今秋十月には完成せしめるが大津以上の橋梁は鋼鐵制限のため橋脚のみ鐵筋コンクリートとし當分の間木造の假橋にしておく。

大津港府中線 大津港より國道十六號線と

交叉し舊大津町中心部を貫通して府道小栗街道に接続する、延長三千四百メートル、幅員十一メートル、工費八十九萬圓。

大津驛宇多線 南海大津驛より國道十六號線と交叉して大津驛より大字宇多にいたり岸和田市都計線と接続する。延長二千五百メートル、幅員十一メートル、工費五十萬圓、なほ起點より國道との交會點までは幅員十六メートルとし大津驛前には面積二千四百平方メートルの廣場を設けて乗客、見送人などの集合所、駐車場にあてる。

二田南會根線 南海助松驛北側より國道十六號線と交叉して大字南會根にいたり小栗街道に接続する延長千三百メートル、幅員十一メートル、工費四十八萬圓、なほ大津驛宇多線同様に助松驛前に面積四百六十平方メートルの廣場を設ける。

森大津川線 南海、阪和兩電鐵中間の幹線として敷設するもので大字森の信濃川東側より眞つ直ぐ南に走り大字蟲取西側を

經て忠岡村經由岸和田市都計線に接続する延長三千六百五十メートル、幅員十一メートル工費四十八萬八千圓。

大津港板原線 大津港南防波堤より大津川沿ひに工業地大字板原北側を走り小栗街道に接続する延長三千メートル、幅員八メートル、工費三十七萬圓。

下條府中線 南海大津驛北側より大字下條穴師を經て阪和和泉府中驛と結ぶ、延長二千六百メートル、幅員八メートル、工費十六萬圓。

二田宇多線 助松驛西方より國道十六號線に分岐し岸海線沿ひに大津町を横斷し大字宇多で大津川堤防上の道路と連絡する延長二千六百メートル、幅員八メートル工費二十四萬圓。

中國地方

鳥取縣の道路改修

鳥取縣に於て十四年度着工の道路改良工

地方通信

事は左の場所に施工することゝなつた。

道路改良箇所 △日野郡日野上村△八頭郡國英村△西伯郡福生村△東伯郡矢送村△鳥取市立川町

九州地方

福岡と山口との連絡帶國道豆トンネルの存置極る

山口福岡兩縣の連絡帶國道關門海底トンネル工事の完成を約束して近く歴史的開通を見ることゝなつた。豆トンネルを本トンネル掘鑿完成後存置するかどうか内務省でも考慮中のところ、工事本陣内務省下關土木出張所において十日存置に決定、工費八萬圓をもつてコンクリート巻を施し本トンネルの排水路とするほか水道、ガス電力の關門連絡路として活用することになり、氣遣はれた豆トンネルの運命もこゝに輝かしい文化の重要使命をおびて更生を固く約束されることになつた。

鷗よ

坂本 佐知

青空をめぐりめぐり

鷗よ なにを探す

千ひろの海に

おとしたものが取れようか

やがて日のくれ